計画策定の趣旨

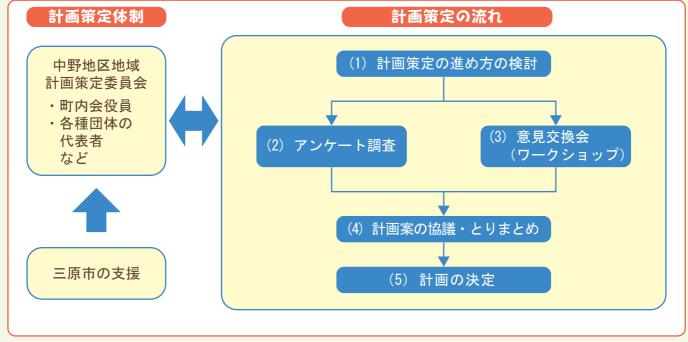
- ●中野地区町内会は、地区活動を強化するために小林、山中野、土取の3区が合併してできた地区町内会です。
- ●本地区は、山陽自動車道三原久井インターチェンジに近接し、広島空港にも比較的近く、高速交通条件に恵まれています。
- ●しかしながら、高齢化・少子化が進行し、地区活動の担い手が不足してきているとともに、商店や公共公益施設の減少などにより、地区の活力が失われてきています。
- ●こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち 自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性 化に取り組むことが一段と重要になっています。
- ●このため、中野地区町内会では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、誰もが誇りを持ち、自慢できる地区づくりを目指して「中野地区活性化計画」の策定に取り組みました。



2 計画策定の取り組み

- ●中野地区町内会では、各種団体の代表者などとともに「中野地区地域計画策定委員会」を設置し、「中野地区活性化計画」の 策定に取り組みました。
- ●計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区住民(16歳以上)へのアンケート調査の実施、地区住民全員を対象とした意見交換会(ワークショップ)を行いました。





| 3|| 地区の活性化計画

地区の将来像

人と自然が共生する快適地区「中野」

地区づくりの基本方針

基本方針11 地区内の交流が活発で、一体感のある地区づくり 基本方針2 地区外との交流、移住が活発な地区づくり 基本方針と 地場産業が活発な地区づくり

地区づくりの基本計画

三体感と郷土愛を育む地区づくり

<地区を挙げての活動の推進>

- ●過疎・高齢化に対応した運営組織の見直し、高齢者の負担軽 減、担い手の発掘、育成などによる地区活動の推進
- ●久井南コミュニティセンターの空き教室の活用など地区内の 文化集会施設の利用促進
- ●いつでも誰もが気軽に集まり、交流できる場所づくり

<地区の一体感を育む地区行事の開催>

- ●地区行事の見直し,中野地区全体で開催する行事の検討
- ●地区行事において若者, 親子が楽しめる企画の充実

<歴史文化の継承の推進>

- ●地区の歴史を伝える写真などの資料収集と久井南コミュニテ ィセンターへの歴史資料館の設置
- ●伝統的な祭りの継承、歴史文化勉強会の開催

<生活環境の改善>

●旧JA中野支所の活用、県道改良、河川改修の働きかけ



2 支え合い、助け合いの地区づくり

<高齢者が気軽に応援を頼める体制づくり>

- ●一人暮らしなどの高齢者のみの世帯に対する総合的な見守り 体制づくり、支援を頼みやすい雰囲気づくり
- ●高齢者の外出支援、地区内移動販売の充実、外出が難しい高 齢者の買い物代行など買い物支援の充実
- ●近隣住民によるゴミ出しの支援
- 「なかの支え合いセンター(仮称)」の設置・運営

<高齢者の生きがい活動の推進>

●高齢者へ就業の場の提供、高齢者が気楽に交流できる場の充実



3定住、移住により若者の元気な声が響く地区づくり

<若者の定住の促進>

- ●良好な情報通信基盤(光回線)を活用して仕事ができる人材のUJIターンの促進
- ●関係機関と連携した地場産業の活性化による若者定住の促進
- ●若者の交流を促進する場の確保,婚活の支援

<他地区の若者との交流の促進>

- ●音楽活動の場づくりによる地区外の若者との交流の推進
- ●県立広島大学などの大学生との定期的な交流の推進
- ●地区外の若者が、自炊で安く滞在できる宿泊施設の整備

<地区出身者との交流の推進>

●町内会便りの送付、インターネットを通じての情報発信などにより、地区行事への参加、退職後などのUターンの促進

<空き家を活用したUJIターンの促進>

●UJIターン希望者に提供できる空き家の確保

<子育てしやすい環境づくりの推進>

- すくすくサロン(久井認定こども園入所までの預かり)の充実
- ●地区の子どもへ自然、歴史文化、農林業などの地区体験の提供と、都市部の子どもとこうした体験を通じての交流の推進



(4)みごう湖を核とした観光交流の活発な地区づくり

<みごう湖周辺整備の推進>

- ●地区を特徴づけているみごう湖周辺の整備(遊歩道,休息広場,釣り場の整備,花木の植栽など)
- ●ウォーキングコースづくり(初心者~上級者)
- ●みごう湖を活用したイベント開催

<都市住民との交流の推進>

●自然,歴史文化,農林業などの資源を活かした多様な地区体験の提供

<その他の交流施設の整備>

●特産物販売所の設置、ため池を活用した釣り堀の開設の検討



(5) 農林地の保全と特徴のある農業を推進する地区づくり

<農地保全の推進と農業の振興>

- ●イノシシ共同防護柵,イノシシ捕獲罠の設置など地区を挙げての有害鳥獣対策の推進
- ●農業機械の共同利用,農業生産方法人の設立,地区外からの 農業の担い手の確保などによる農地の保全
- ●特産物のブランド化,広域的な情報発信,多様な販路の開拓 などによる農業の振興

<山林保全の推進とその他の産業起こし>

- ●山林の間伐、植林、竹林の拡大防止などによる里山の再生
- ●地区の山野草を活用した漢方薬づくりなどの産業起こし



4 計画の推進体制

計画の周知,取り組みへの参加の働きかけ

- ●「中野地区活性化計画」概要版の全戸配布
- ●中野地区町内会の分会などで「中野地区活性化計画」の説明会の開催

計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

<計画の推進体制づくり>

- ●元気な住民全員の参加による地区づくり推進体制の確立 (特に、若い世代の参加の働きかけ)
- ●中野地区の各種団体との連携を強化し、一体的かつ幅広い 活動の推進
- 人材バンクの設置,登録により,適材適所の人材活用の推進
- <段階的な取り組みの推進>
 - ●優先的に行う事業を検討し、段階的な取り組みの推進
- <取り組みへの多様な担い手の参加の確保,人材の育成>
 - ●住民, 各種団体, 企業などとの連携の強化
 - ●地区出身者及び都市住民の応援,三原市などの支援の活用
 - 講習会,研修会,先進地視察などの実施による人材の育成



6 情報の受発信体制の確立

<地区内向けの情報発信>

- ●町内会便りの内容の充実
- ●若者世帯などに対してインターネットを活用した情報の発信
- <地区外向けの情報発信>
 - ●インターネットを活用した中野地区の情報発信体制づくり
- <人材の確保>
 - ●中野地区町内会のホームページを管理、活用できる人材の確 保,育成

















<問い合わせ先>